



表題は一緒に歩む男女共同参画をイメージしています

男女共同参画推進審議会の 様子です



国では政策決定の場に女性の登用率30%をつたっておりませんが、大崎市の男女共同参画推進基本計画では40%を目標としております。大崎市男女共同参画推進審議会委員の構成は男性4名・女性が10名で40%クリアしています。常に会議中は活発な意見が飛び交い、大崎市の男女共同参画は順調に推進されています。

今年度は第2次大崎市男女共同参画推進基本計画を策定し平成26年度から施行されます。初めての試みでアクションプランによる事業進捗管理を推進していくことになります。計画策定には審議会委員には常にご意見・ご助言をいただき、完成に至りました。これまで同様、計画の推進状況の見守りを願います。

第4期大崎市男女共同参画推進審議会は市民代表、団体推薦、学識経験者14名で構成し、大崎市男女共同参画社会の形成を推進するためのご意見をいただいています。今期で任期満了となることからこの2年間の活躍に感謝申し上げます。委員の中には、合併以前から男女共同参画社会の推進の先駆的役割を果たされた方もおり、大崎市の男女共同参画社会の形成に御尽力いただきました。

第4期大崎市男女共同参画推進審議会委員に感謝

リレー コラム

男も女もない，朝は総力戦です。

常に元気印の私ですが十数年ぶりに風邪の襲来を受けました。背中に悪寒が走り、喉の痛みと38度5分の熱。こんな日は暖かくして早めの就寝に限ります。けれども症状は改善せぬままにとうとう朝になりました。

朝食の用意も気になるし、出勤時間も迫っているし、どうにか起き上がり、台所に向かいました。

こんな時の炊事は本当につらいねなどとひとり言を言っていると「早く起きたからごはん炊いといたよ」と夫の声。予期せぬことでしたらからうれしくて、そしてほっとしたある朝のひとコマです。

「そんなこと、うちは毎日のことですよ」という声が聞こえてきそうです。…そうですね、朝はどこも皆忙しい。子どもの世話、食事の用意、身支度、介護もあるかも。男だから、女だからなんて言ってられません。総力戦で目の前の事を片づけて出かけなければならないのですから。

料理を得意とする男子は朝から厨房に入りましょう。それぞれの家にいろいろな生活スタイルがあって良いと思うからです。

さて「仕事以外の面の充実が仕事への好循環を持たらす」と、以前聞いた言葉が印象に残っています。

私にとって好循環を持たらす環境は、居心地の良い家庭です。家族の温かい理解を得ながら仕事を続けていられる事に感謝する日々です。

大崎市岩出山総合支所長 山田 寿子



地域で輝く女性たち

鳴子温泉郷総合観光案内所職員

高橋 貴美子 さん

JR 鳴子温泉駅構内にある鳴子温泉郷総合観光案内所で、訪れる観光客に「毎日笑顔!」「お客様の立場に立ったご案内!」をモットーに、スタッフの中心として29年目を迎えた高橋貴美子（たかはしきみこ）さん。

お仕事について伺うと、「今まで出会ったことがないような人と出会えることにおもしろさややりがいを感じます。鳴子は秋の紅葉と温泉が有名ですが、初夏の新緑は生命力に満ち溢れて大好きです!」としっかり観光PRも忘れないところはさすがプロフェッショナル。

夫婦共働き、ご多忙な貴美子さんですが、夫婦円満・家庭円満の秘訣を伺ってみると、「お互いに干渉しない、相手に期待しない、気付いた人、今やれる人がやり、お互いに感謝し、`ありがとう`の言霊を大切にすること。そして何より食事は家族そろって食べること!」と少し照れた様子。



笑顔の秘訣は?の問いに、「ありがとうの気持ちを忘れないこと。そして美味しいもの、食べたいものを食べ、休日には出かけて、今の自分をリセット。よってダイエットはいつも失敗(笑)」とユーモアも交えて話してくれた。

いつも自然体で接してくださる人間味あふれる貴美子さんは、今日も活き活き、訪れるお客様に「お・も・て・な・し〜!」



Benry (ベンリー)

千田 和佳奈 さん

幼少のころからクラシックバレエを習い、今でも思い出すと踊りたくなると話す千田和佳奈（ちだわかな）さん。写真は中学3年生の時に参加した、バレエコンクール本番の様子です。

結婚するまでは、ごみの分別さえも親任せ。環境問題には全く関心がなかった。循環型社会を目指す仕事をしている男性と出会い結婚。そこで環境や資源に対する考えが一変した。現在、平成26年1月15日にご主人と立ち上げた「ベンリー」は環境に配慮した仕事。



今の時代を反映させるがごとく、一人世帯で不便を感じているお年寄りや、他県に住む家族からの問い合わせなど生活上の悩みを抱えた方たちの各種相談に応じ、それぞれのライフスタイルに合わせて対応している。

今後も依頼者の「ありがとう」を励みに、人が生活しやすい環境を守っていけるように頑張りたいと話す。

今日も赤い制服に身を包み、地域で輝きながら、環境を守っていくために何が必要かしっかり見据えていた。

